

令和7年度

福島県青少年健全育成審議会（第2回部会）

議 事 録

令和8年2月3日（火）開催

令和7年度福島県青少年健全育成審議会（第2回部会）議事録

開催日時：令和8年2月3日（火）10時55分～11時50分

開催場所：自治会館3階 301会議室

出席委員：10名

阿部泰宏、井上裕子、小島有里子、安田健治、佐藤達哉、  
高荒由幾、中田和宏、七海圭子、吉田江理子、渡部純  
（名簿順、敬称略）

事務局：4名

こども・青少年政策課 課長 斎藤康徳  
総括主幹兼副課長 朽木洋美  
主任主査 渡部圭史  
副主査 本柳健

審議内容：青少年の健全な育成を図る上で有益な書籍の推奨について

1 開会（10時55分）

2 充足数の確認

事務局より、委員10名全員の出席があり、定足数（過半数：7名以上）を充足していることを報告

3 議事

（1）議事録署名人の指名

議長からの指名により、井上裕子委員と中田和宏委員の2名を議事録署名人に選出した。

（2）青少年の健全な育成を図る上で有益な書籍の推奨について

事務局（渡部主任主査）より、採決方法（議長を除いた出席委員の過半数で可決）について説明。

○「消えたモナ・リザ」

議長（小島有里子部会長）

- ・ 「消えたモナ・リザ」について審議をしたいと思います。あらかじめ事務局に提出していただいた資料によれば、3名の方が非推奨とされておりますので、この本については委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

高荒由幾委員

- ・ 私は結論としては推奨です。ただ、非常に読みづらい本で、交錯する内容を理解するのがとても難しかったと思っています。  
しかし、当時の社会背景や歴史的な背景について非常に深い掘り下げがなされていたので、読者が多角的に興味を持つにはいい本ではないかと思って推奨しました。

中田和宏委員

- ・ 私は非推奨としました。  
読み進める中で個々のピースが繋がり、パズルが完成するような感覚が得られ、歴史的事実を習得できる側面も評価できる一方で、文章が非常に読みにくいです。  
・ 倒置法の多用や文章が短く断続的に切れるといった特殊な文章表現をこどもたちが模倣してしまうことが懸念されるので、最終的に非推奨と判断しました。

七海圭子委員

- ・ 私も結論は推奨です。  
訳本特有の影響か、言い回しが非常に難解であると感じました。  
・ しかし、その難しさも含めて、読書に慣れたこどもであれば十分に楽しめる内容であり、読了後、長編映画を鑑賞した後のような重厚感を味わえるので、読書好きのこどもに読んでもらいたいと思い推奨としました。

吉田江理子委員

- ・ 大学時代に実際にルーヴル美術館に行き、モナ・リザを鑑賞した体験と内容が重なり、非常に強い興味を持って読み進めることができました。  
「自分で購入したい」と思うほど非常に良く、面白い本でした。

渡部純委員

- ・ 私は非推奨としました。  
まもなく「大ゴッホ展」が始まるので、美術に関心を持ってもらうきっかけとしての有用性は認められますが、「どうしてもこれを読んでください」と積極的に勧めするほどの決定打に欠けると感じました。

#### 佐藤達哉委員

- ・ 他委員の指摘通り非常に読みづらく、時代背景の頻繁な転換や、登場人物の多さ、外国人名の複雑さにより、整理に多大な労力を要し、メモを取りながら、非常に頭を使いながら読み進める必要がありました。
- ・ しかし、終盤に至ると、バラバラだった要素が「複合的・3D的」に一つの大きな塊として繋がり、作品の凄みを感じるに至ります。  
確かに読みづらい本ではありますが、一生懸命読んで理解しようと努めるといふ行為そのものが、読書体験として価値があるので推奨としました。

#### 安田健治委員

- ・ 他委員の指摘どおり非常に読みづらい本かなという印象を受けました。  
国語教師の視点から分析しても、中学生以上の読書慣れしている層でなければ、内容に入り込むのは困難で、読書経験の浅い子どもが最初に手に取った場合、「本嫌い」を誘発しかねない懸念があります。
- ・ しかし、「モナ・リザ」という知名度の高い題材は、子どもたちの興味を惹きつける力がありますし、物語が同時並行で進行する特殊な構造を味わうことは、読書慣れた子にとっては貴重な体験となると思い、推奨としました。

#### 井上裕子委員

- ・ 私は非推奨にしました。  
モナ・リザ盗難事件とレオナルド・ダ・ヴィンチの生涯という二つの時間軸が交互に語られる構成は、子どもが物語の筋道を追うには非常に分かりづらいです。
- ・ 次々と登場する外国人の名前も、子どもが混乱する大きな要因になると思います。
- ・ 子どもが最後まで関心を持ち続け、読み切ることが困難ではないかという強い疑問があり、一部の「本が好きな子」であれば読み進められる可能性はありますが、多くの子どもたちが読了できるかという観点から、推奨には至りませんでした。

#### 阿部泰宏委員

- ・ モナ・リザ窃盗事件と画家の実人生が交互に描かれる構成は非常に映画的であり、単なる読書を超えた没入感のある体験として高く評価できます。  
小学校高学年にしては難易度が高いとの懸念はありますが、現代の若年層は伏線回収などの複雑な構成のアニメを日常的に享受しています。
- ・ 文章で読むハードルは考慮しつつも、こうした骨太な読書体験を提供することには意義があると考え、本作品を推奨しました。

議長（小島有里子部会長）

- ・ それでは、「消えたモナ・リザ」について、推奨される方は挙手をお願いします。

（議長を除いた出席委員6名が挙手）

- ・ それでは、「消えたモナ・リザ」については推奨とさせていただきます。
- ・ 続いて、推奨対象についてですが、「小学校高学年」と「中学生」が最も多いようですが、これについてご意見はありますか。

高荒由幾委員

- ・ 私は、推奨対象を「小学校高学年」として資料に記載したのですが、内容や読み進め方の難しさを考えると「中学生以上」に修正します。

吉田江理子委員

- ・ 「消えたモナ・リザ」は文章が読みづらいので対象を「中学生以上」にしました。

議長（小島有里子部会長）

- ・ それでは、対象年齢を分けて改めて多数決をとらせていただきます。  
（多数決で対象は中学生以上となり委員一同、了承）
- ・ では「消えたモナ・リザ」については、推奨対象を「中学生以上」とします。

○「それからぼくはひとりで歩く」

議長（小島有里子部会長）

- ・ それでは、「それからぼくはひとりで歩く」について、審議いたします。皆様何か御意見ありますでしょうか。

阿部泰宏委員

- ・ 作中の「目が見える友達が白杖を使って歩く」という描写が非常に印象に残っています。  
読書という疑似体験を通じて、視覚障がい者の立場を理解することは、こどもたちにとって極めて大切です。
- ・ 過去の経験に照らしても、日常生活で視覚障がい者と接点を持つ機会は少ないですし、こうした作品に触れることは、相互理解の第一歩として大きな意義があります。  
他者への理解を深め、多角的な視点を養うことはこどもたちにとって必要と思い本作品を推奨としました。

#### 井上裕子委員

- ・ 「障がい者は大変な人だ」という一方的な固定観念ではなく、当事者がどのような心持ちで日常を生活しているかを深く考えるきっかけとなる一冊でした。
- ・ 阿部委員の指摘と同様、白杖の重要性について身をもって体験する描写は非常に価値が高く、読者が日常生活で視覚障がい者と接する際の具体的な配慮や姿勢を学べる点が、当事者の視点に立った深い理解を促し、適切な接し方を気づかせてくれると思います。推奨としました。

#### 議長（小島有里子部会長）

- ・ それでは「それからぼくはひとりで歩く」について、推奨される委員は挙手をお願いいたします。

（議長を除いた出席委員 9 名全員が挙手）

- ・ それでは、「それからぼくはひとりで歩く」については、推奨とさせていただきます。
- ・ 続いて、推奨対象についてですが、小学校の「中学年」と「高学年」が最も多いようですが、これについてご意見はありますか。

#### 吉田江理子委員

- ・ 「もし自分だったら」と想像すると年齢が上の方でも当事者意識を持って読むことができるため、幅広い年齢層に受け入れられる内容だと思います。
- ・ 映画でも視覚障がい者のための音声ガイドのようなものがありますが、今、お話を聞いても大丈夫でしょうか。

#### 阿部泰宏委員

- ・ 法改正に伴い、興行界では障がい者配慮が加速しています。  
スマートフォンアプリ「UDCast」の導入により、「木の葉がそよぐ場面」「人物の動作や関係性」といった映像情報を言葉で補足し、情景を音声で伝える工夫がなされるなど、視覚・聴覚障がい者は場面に応じた副音声や状況説明を、映画本編と同期させて鑑賞することが可能です。
- ・ 聴覚障がい者への対応として、字幕版の上映も存在します。  
しかし、全作品ではなく、国宝などのロングラン作品で字幕対応の議論がなされますが、最終的な対応は各映画会社の判断に委ねられています。

#### 佐藤達哉委員

- ・ 例えば、遠くで起きた災害などに対し、同情しつつもどこか「高みに立った他人事」として捉えてしまう自分がおり、障がい者の立場についても同様に、自分事として捉えきれていない自分への反省があります。
- ・ こどもたちには、「障がいのある方と共に生きる時代」であることを早期に理解することが不可欠であり、早い段階から作品を通じて当事者の視点に触れるべきであると考え、本作品の対象を低学年まで広げることになりました。

#### 議長（小島有里子部会長）

- ・ それでは、対象年齢を分けて改めて多数決をとらせていただきます。（多数決で対象を小学校の「中学年」及び「高学年」となり委員一同、了承）
- ・ 多数決の結果、本作品は「小学校中学年」及び「小学校高学年」を推奨対象とさせていただきます。

#### ○ ベランダでわたをつくったよ

#### 議長（小島有里子部会長）

- ・ それでは、「ベランダでわたをつくったよ」について、審議いたします。皆様何か御意見ありますでしょうか。

#### 安田健治委員

- ・ 私は推奨とさせていただきます。
- ・ 現代で失われつつある「ご近所付き合い」や、隣人との温かな交流が描かれている点も高く評価できますし、植物を育てるプロセスの大切さに加え、多世代交流を通じて得られる心の豊かさをこどもたちに伝えたいと思いました。

#### 佐藤達哉委員

- ・ まず、絵本として淡い色彩で描かれており、開いた瞬間に温かみを感じる第一印象の良さが高く評価できます。
- ・ また、「物づくり」や「科学的関心」を育む内容となっておりますが、一般的な野菜ではなく、なぜ「綿花」を選んだのかという点は疑問でした。
- ・ 本を開いたときの雰囲気、隣のおばあちゃんとの交流は、非常に良いと思いますので推奨します。

#### 中田和宏委員

- ・ 「綿花」と福島つながりについて補足しますと、原発事故後、綿は放射性セシウムを吸収しにくい植物として、主に浜通りで栽培が始まり、今現在も、被災地の復興と新たな産業づくりのために、役立てられています。

#### 吉田江理子委員

- ・ 綿というと福島には「養蚕」の文化もあります。  
虫という存在から絹の糸になり、スカーフなどの作品になる過程を身近に感じられるのは素晴らしいことです。
- ・ 食べ物の栽培も魅力的ですが、この本はこれで良いと思います。絵も素敵でした。

#### 渡部純委員

- ・ 我が家にもこどもが2人おりますが、やはり植物を育てることを通して、日々の生活の中にも気づきや学びがあると感じますので、推奨としました。

#### 議長（小島有里子部会長）：

- ・ それでは「ベランダでわたをつくったよ」について、推奨される委員は挙手をお願いいたします。

（議長を除いた出席委員9名全員が挙手）

- ・ それでは、「ベランダでわたをつくったよ」については、推奨とさせていただきます。
- ・ 続いて、推奨対象についてですが、小学校の「低学年」と「中学年」が最も多いようですが、これについてご意見はありますか。

#### 高荒由幾委員

- ・ 図書館からの推薦には「低学年から」とありますが、単純に植物を育てるだけでなく、工程が複雑な糸の紡ぎ方や織り方まで入っていたので、低学年では手が動かず、途中で挫折してしまうのではないかと思い、私は「中学年」としました。

#### 七海圭子委員

- ・ 私も中学年としました。読むだけなら低学年でも可能と思いますが、この本を見て「実際にやってみよう」と思ったり、自由研究の材料にしたりすることを考えると、中学年くらいからが扱いやすいのかなと感じました。

#### 中田和宏委員

- ・ 「読書」の意味についてなのですが、文章を読むことだけが読書ではなく、絵を見て何かを感じ取れたら、それも一つの読書なのかなと思います。
- ・ 小さなお子さんが読んで「これは何？」とお母さんなどに聞くことで会話が生まれ、理解も深まっていくのだと思います。  
幼児がこの本を一人で読んで理解するのは難しいでしょうが、幼児にも読んでもらっていいのかなと個人的には思いました。

議長（小島有里子部会長）

- ・ それでは、対象年齢を分けて改めて多数決をとらせていただきます。  
（多数決で小学校の「低学年」及び「中学年」となり委員一同、了承）
- ・ 多数決の結果、本作品は「小学校低学年」及び「小学校中学年」を推奨対象とさせていただきます。

○ なにかいいことあった？

議長（小島有里子部会長）

- ・ それでは、「なにかいいことあった？」について、審議いたします。  
皆様何か御意見ありますでしょうか。

七海圭子委員

- ・ 当初は、急に「いいこと探し」を始める唐突な展開に感じられましたが、タイトルが英語の挨拶「What's new?（最近どう?）」に由来すると理解することで、物語の整合性が取れました。
- ・ おじいちゃんの「軽い挨拶」を「何か探してくる」として捉えたこどもの純粹さとそれを見守るおじいちゃんという背景を理解しないで読んでも、読後に親子で「今日のいいこと」を話し合えば、そこから会話が広がる良い一冊だと思い推奨しました。
- ・ 漢字が使用されていないため、小学校低学年でも一人で読み進めることができます。

吉田江理子委員

- ・ 「いいこと」は意識しないと見落としやすいので、こういう意識は大事だなと思いました。作中の少年の姿が、いいことを探して、たくさんのことに気づいていく姿がキラキラして、とても素敵だなと感じました。

中田和宏委員

- ・ 読んでいて前向きな気持ちになれる本で、文章にリズム感があり、柔らかな色彩で描かれている絵も内容にぴったりでした。  
是非子どもたちに読んで欲しい一冊です。

高荒由幾委員

- ・ 私は、問いかけに対してこどもが飛び出していき、自然と対話しながら「自分にできること」や「新しいこと」を見つけていく過程がすごく前向きで、子どもたちに是非読んでもらいたいと感じました。

議長（小島有里子部会長）：

- ・ それでは「なにかいいことあった？」について、推奨される委員は挙手をお願いいたします。

（議長を除いた出席委員 9 名全員が挙手）

- ・ それでは、「なにかいいことあった？」については、推奨とさせていただきます。
- ・ 続いて、推奨対象についてですが、「幼児」と小学校の「低学年」が最も多いようですが、これについてご意見はありますか。

安田健治委員

- ・ 改めて検討しまして、やはり幼児と小学校低学年に推奨します。

渡部純委員：

- ・ 中学年の方にも、この前向きな内容を読んでいただきたいなと思います。

議長（小島有里子部会長）

- ・ それでは、対象年齢を分けて改めて多数決をとらせていただきます。（多数決で対象を「幼児」及び「小学校低学年」となり委員一同、了承）
- ・ 多数決の結果、本作品は「幼児」および「小学校低学年」を推奨対象とさせていただきますありがとうございます。
- ・ 以上で、「青少年の健全な育成を図る上で有益な書籍の推奨」についての審議を終了いたします。
- ・ 今回の審議結果につきましては、後ほど文書をもって知事に答申することといたします。
- ・ それでは、進行を事務局にお返しします。ありがとうございました。

事務局（朽木総括主幹）

小島部会長、ありがとうございました。

以上をもちまして、令和7年度第2回青少年健全育成審議会部会を終了いたします。

以上の議事の顛末を記録し、これを証するため、指名を受けた両委員が署名捺印する。

令和8年 3月 3日

署名委員

井上 裕子



令和8年 3月 7日

署名委員

中田 和宏

